



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY

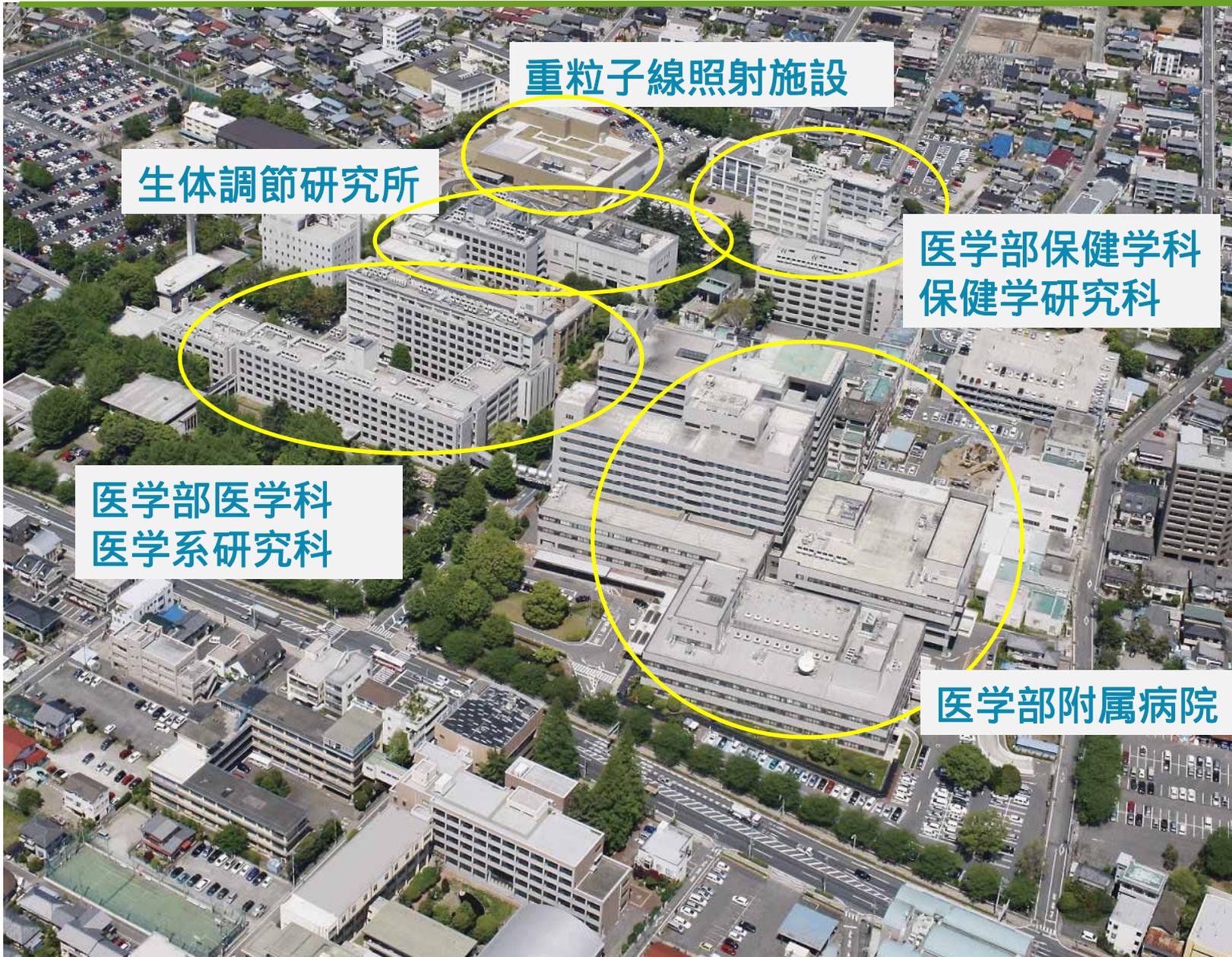
群馬大学医学部医学科について

赤城山

群馬大学
医学部



群馬大学昭和キャンパス



群馬大学医学部 附属病院



群馬大学医学部医学科の 教育について

群馬大学医学部医学科 人材育成の理念（SESの理念）

医の科学（Science）、倫理（Ethics）、技能（Skill）の探求とそれらの統合による、医学の研究と教育の推進、並びに医学と医療をリードする人材の育成

教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー) ~このような教育を行います~

<教育の目標>

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽する力がつく教育

1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身につく教育
2. 自然科学、医学、医療、人間と社会にかかわる知を習得し、それを実践でいかす力が身につく教育
3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身につき、リサーチマインドが育つ教育
4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育。

群馬大学医学部医学科のアウトカム

本学医学科では、

卒業時に目指すべき学生像と卒業時に身につけておくべき力を定めています。これらのアウトカムを達成すべく6年間の教育をおこないます。

卒業時に目指すべき学生像

医学・医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、
科学的知（Science）、倫理（Ethics）、
技能（Skill）
の3つの面にわたって生涯自己研鑽を続けることができる学生。



群馬大学医学部医学科のアウトカム

卒業時に身につけておくべき力

- A 自己省察（せいさつ）力
- B 知識の獲得と知識を応用する力
- C コミュニケーション能力
- D チーム医療の中で協働する力
- E 基本的な総合診療能力
- F 地域医療の向上に貢献する能力
- G 医学研究を遂行する能力
- H 自己研鑽

A～Hの各領域についてさらに具体的な目標が定められています
詳しくはウェブサイトをご覧ください

医学教育モデルコア・カリキュラム

国内のどの大学の医学部も、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に基づいた教育が求められています。本学ではこれに加えて

倫理教育、人間学（人間理解、人との関わり方）
教育、医療安全教育、シミュレーション教育、多
職種連携教育、診療参加型臨床実習 の充実を
図っています。

本学のカリキュラムと教育体制は 医学教育分野別評価で認定されています



国際評価機関である
日本医学教育評価機
(JACME)による
医学教育分野別評価の
審査を受けて、本学の
カリキュラムと教育体
制が、国際基準に適合
していることが認定さ
れました。

学年	1	2	3	4	5	6
----	---	---	---	---	---	---

共用試験：

Student Doctorとして臨床実習に参加するために必要な知識・技能・態度を評価する全国統一試験

CBT (computer-based testing)
総合的な医学知識を問う試験

OSCE (Objective Structured Clinical Examination)
技能・態度を問う実技試験

臨床実習前
共用試験
OSCE・CBT

を学ぶ

臨床実習達成演習

臨床実習2

臨床実習後OSCE

実践臨床講義
卒業試験

医療論



学年 1 2 3 4 5 6

科学的知
Science

倫理
Ethics

技能
Skill

Student Doctorとして
診療参加型臨床実習へ！

医療チームの一員として診療に参加
します

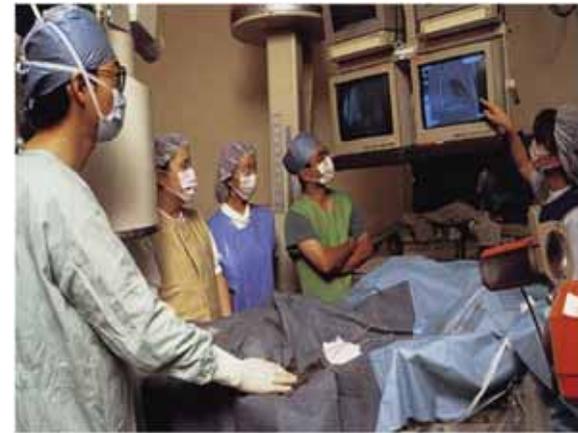
大学附属病院だけでなく、県内各地
の基幹病院や診療所を含む医療施設
の協力のもと、地域の特性に応じた
医療について学びます

臨床実習

臨床実習後 O S C E
実践臨床講義
卒業試験



診療参加型臨床実習



附属病院だけでなく県内全域の医療機関で臨床実習を実施しています。
5年次～6年次の臨床実習では、45施設172プログラムから実習先を選択できます。

学年 1 2 3 4 5 6

科学的知
Science

倫理
Ethics

技能
Skill

臨床実習後OSCE :

臨床実習で身につけた臨床能力を評価する試験、
全国共通課題を含む

臨床実習後OSCEと卒業試験の両方に合格すると
医師国家試験の受験資格が得られます。

卒業試験
臨床実習後
O
S
C
E

学年

1

2

3

4

5

6

科学的知
Science

「国家試験に合格して医師になること」
はゴールではありません

卒業時点で、臨床研修に進み、医師としてスタートできる知識・技能・態度を身に付けていること、生涯にわたり自己研鑽を行う姿勢をもつことが求められています

倫理
Ethics

自ら努力する姿勢が重要です

技能
Skill

国家試験

特別プログラム

- ・グローバルフロンティアリーダー（GFL）
育成プログラム

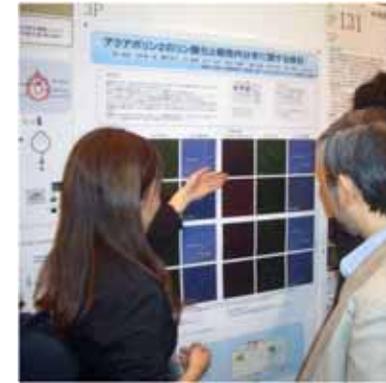
<https://gfl.jimu.gunma-u.ac.jp/>

全学部の学生が参加できるプログラムで、通常の学部・学科等のカリキュラム以外の活動として、所属学生（GFL生）たちが協力し合いながら多種多様な教育プログラムに取り組みます。国際的視野を持ち、広く国際社会に貢献し得る人材の養成を目指します。

特別プログラム

- MD-PhDコース

<https://md-phd.showa.gunma-u.ac.jp/>



研究に興味がある学生にお勧めです
授業時間以外に研究室で研究をおこないます



医学科卒業後に本学の大学院に進学した場合、一定の条件を満たせば大学院を3年で修了することもできます

国際交流

インドネシア、コロンビアの提携校との交換留学プログラム等、海外留学プログラムも複数用意されています。

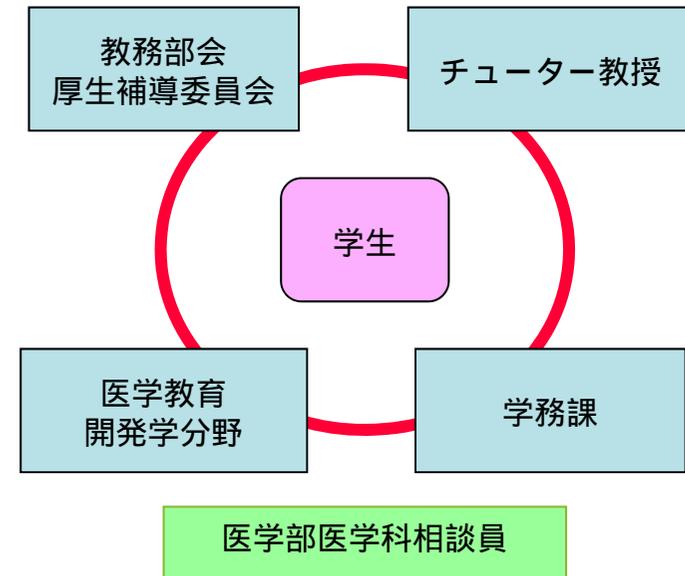
大学の援助を受けられる短期留学プログラムもあり、渡航費の一部は同窓会や後援会から援助を受けることができます。



チューター制度

新入生 2 ~ 4 人に対し 1 人の教授が担当チューターとなり、卒業まで学生をサポートします。

入学時のガイダンス、相談
再試験の申請や確認
修学時の色々な問題・悩みの相談
卒業後の研修先への推薦状の作成
など



チューターは学生の側に立った「保護者」的な役割

地域医療マインドを持つ意欲的な人材を支援します！

地域医療枠制度



2022年度 県庁訪問

群馬県緊急医師確保修学資金制度

群馬県と群馬大学は、県内の医師不足に対し相互に連携し、平成21年度から群馬大学医学部の定員増を実施しています。将来県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持って群馬大学医学部医学科に進学する学生（地域医療枠学生）に対し、修学資金を貸与する制度を設けています。

群馬県の医師不足状況

医師総数の不足

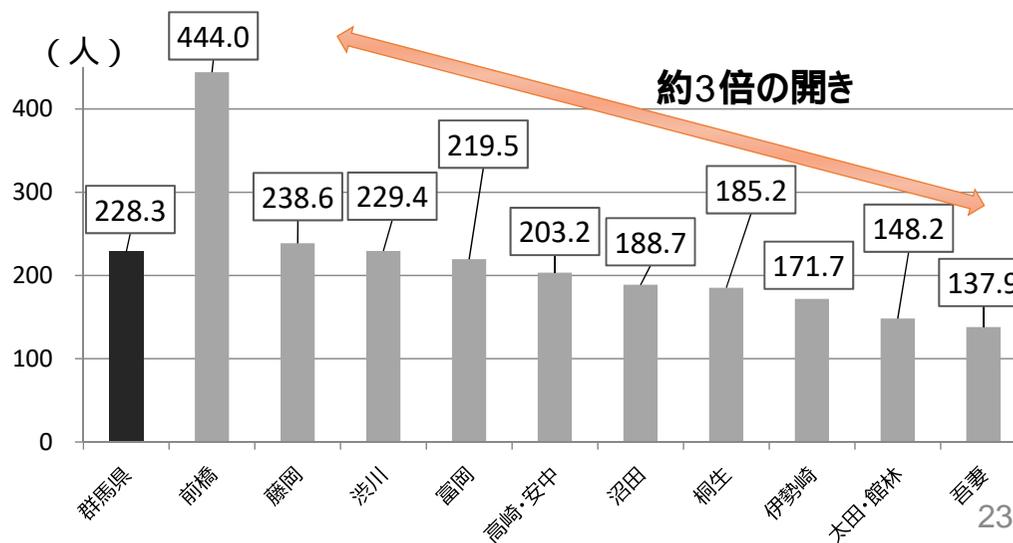
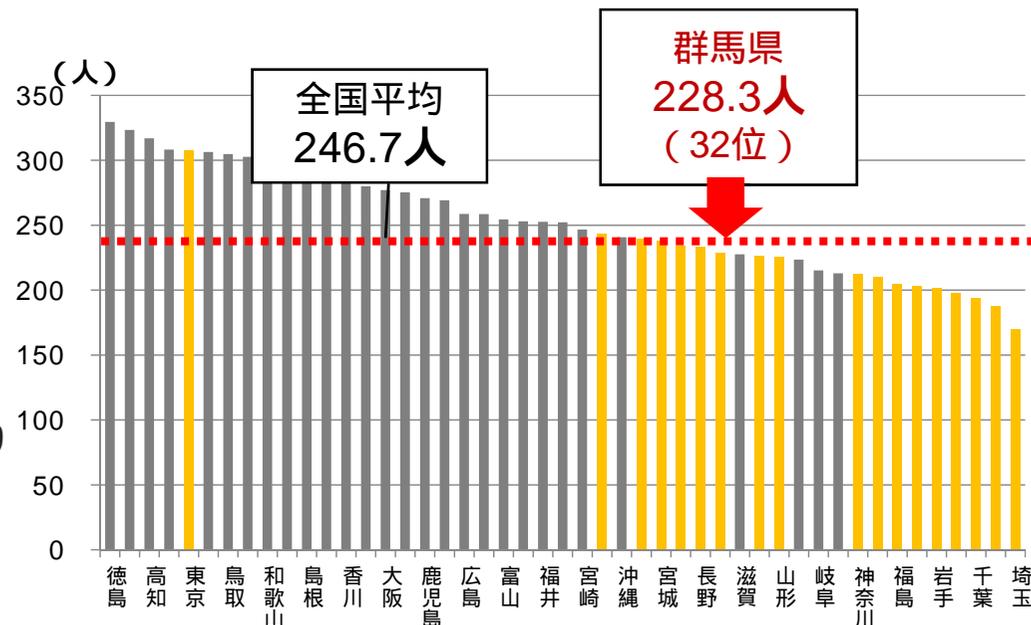
群馬県の人口10万人当たり医師数は全国32位で、全国平均を下回っています。

医師の地域偏在

県内を地域別にみると、人口10万人当たり医師数は、前橋医療圏が最多で、太田・館林、安中、吾妻医療圏との地域偏在が問題になっています。

医師の診療科偏在

群馬県では、産婦人科、小児科、麻酔科、救急科、外科、整形外科、総合診療科が特に不足する診療科とされています。



群馬県緊急医師確保修学資金制度

対象者：群馬大学医学部医学科入学試験の地域医療枠合格者
推薦入試、一般入試の各試験に枠を設けています（令和2年度入学試験より別枠方式で選抜）

貸与額：月額100,000円（年額1,200,000円）【初年度は入学料相当額を加算】
ただし、本人及び生計を一にする者の所得額の合計が1,500万円未満の場合は、
月額150,000円（年額1,800,000円）

貸与期間：6年間

貸与条件：群馬県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、卒業後、県内の特定病院において、
一定期間、臨床研修及び診療業務に従事すること。
貸与期間中に修学資金貸与を辞退することは、原則として認めません。

返 還（一部抜粋）

- ：次の要件をすべて満たした場合、修学資金の返還が免除されます。
- ・卒業後、貸与を受けた期間の3分の5に相当する期間、県内特定病院で診療業務に従事する。
 - ・4年間以上は、「医師不足地域」の特定病院又は「特に不足する診療科」にて勤務すること。
（へき地医療拠点病院又はへき地診療所に勤務する場合は3年間以上）。
 - ・従事必要期間は「**ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス**」に参加すること。



地域医療を通じて群馬県に貢献したい
という医学生を求めています！

群馬県緊急医師確保修学資金制度について

群馬県ホームページ：<https://www.pref.gunma.jp/02/d1010069.html>

群馬県地域医療支援センターホームページ：<https://www.gmcc.jp/>

群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」



ぐんま地域医療リーダー養成キャリアパス

GMCP
Gunma Medical Career Path

Think Globally,
Act Locally

Subspecialty専門医

消化器・呼吸器・内分泌代謝・腎臓・アレルギー・老年病・循環器・血液・糖尿病・
肝臓・感染症・神経内科・消化器外科・呼吸器外科・心臓血管外科・小児外科 等

群馬県内の医療機関（特定病院）に従事しながら
基本領域（19診療科）の専門医取得をめざします

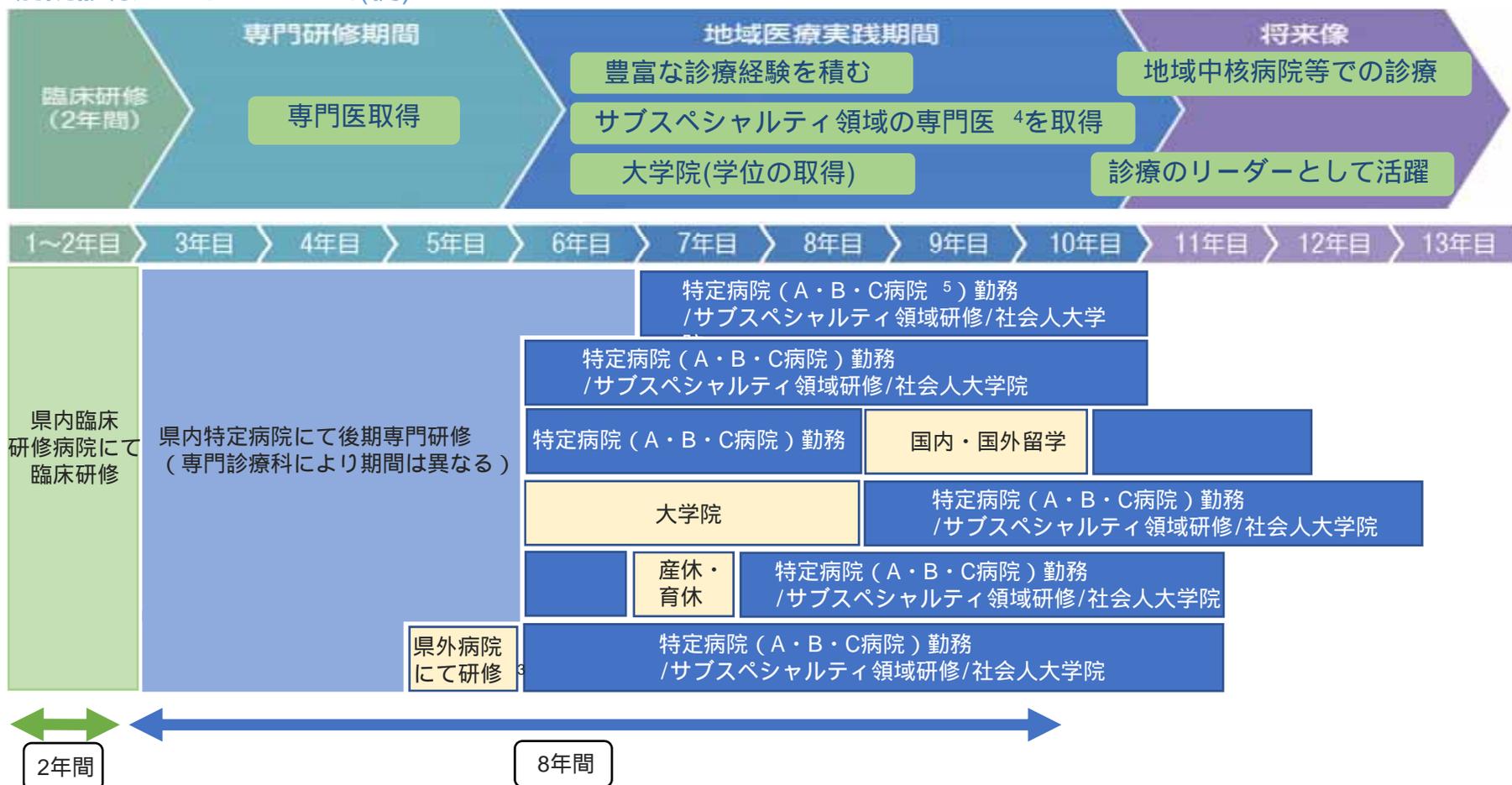
基本領域専門医

総合診療科
臨床検査
病理
形成外科
リハビリテーション科
救急科
放射線科
泌尿器科
眼科
整形外科
精神科
小児科
麻酔科
脳神経外科
耳鼻咽喉科
産婦人科
外科
皮膚科
内科



地域医療枠卒業生のキャリア形成

病院診療リーダーコース(例)



8年間のうち、**4年間以上**は「**医師不足地域** ¹」の特定病院または「**特に不足する診療科** ²」に勤務します。
 (へき地医療拠点病院またへき地診療所に勤務する場合は3年間以上)

1 医師不足地域：前橋保健医療圏を除く、9保健医療圏が全て医師不足地域

2 特に不足する診療科：小児科、産婦人科、麻酔科、救急科、外科、整形外科、総合診療科

3 特定病院での後期専門プログラムの一環として研修する場合

4 サブスペシャルティ領域の専門医：診療科や領域の中のさらに細分化された専門分野

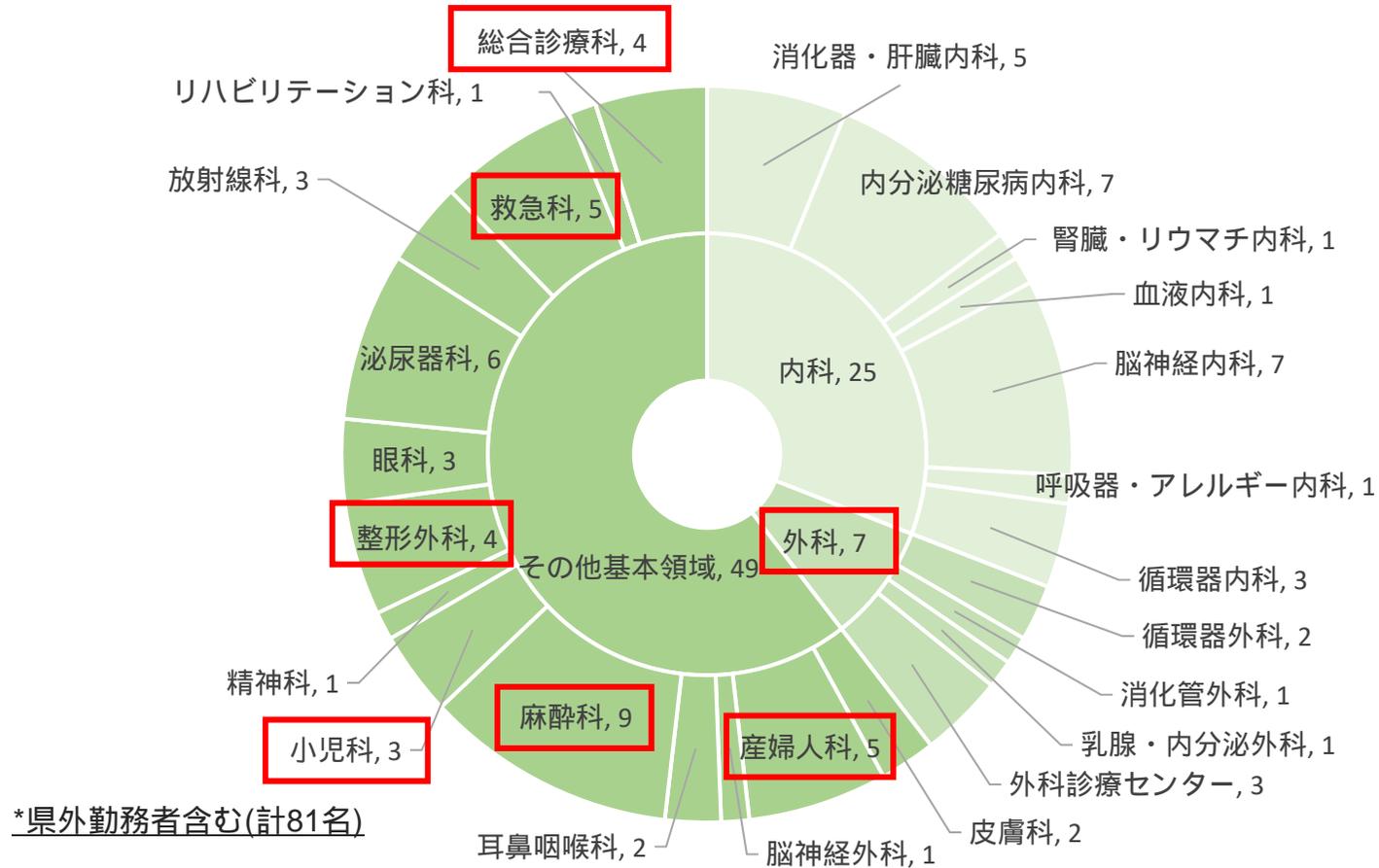
5 A病院：公的病院・協力型臨床研修病院/へき地診療所/二次救急輪番病院 B病院：基幹型臨床研修病院 C病院：大学病院

医師のキャリア形成支援体制



地域医療卒業者の進路（診療科）

多くの地域医療卒業者が、群馬県内で活躍しています。



地域医療卒1期生は卒後8年目のベテラン医師に成長しています。
群馬県で不足している診療科で活躍する卒業生も増加しています。

医学科の入試の種類（多様な選抜方法） 各選抜方法の概要

選抜区分 募集人数	学校推薦型選抜	一般選抜(前期日程)	編入学
	一般枠 25名 地域医療枠 12名*	一般枠 65名 地域医療枠 6名*	15名
入学学年	1年次	1年次	2年次
ポイント	各高校から5名以内 2022年度入試から 大学入学共通テストを課す**	大学入学共通テスト 450点換算 (英語筆記:リスニング = 4:1)	学士や大学生 (2年以上在学)
選抜方法	小論文 面接 大学入学共通テスト**	数学 150点 理科(物理・化学) 150点 小論文 150点 面接	一次試験 小論文 二次試験 面接

*地域医療枠で合格とならなかった場合、一般枠にて再度合格者の判定を行う。(逆は不可)

**5教科7科目(理科は生物・物理・化学から2科目選択)の得点が著しく低い場合には不合格となる。

学校推薦型選抜（2023年度（令和5年度）入試）2023年（令和5年）4月入学

出願期間：2022年（令和4年）11月 1日（火）～11月 7日（月）

学力試験等：2022年（令和4年）11月19日（土）～11月20日（日）

大学入学共通テスト：2023年（令和5年）1月14日（土）～ 1月15日（日）

合格者発表：2023年（令和5年） 2月14日（火）



学校推薦型選抜の出願要件

出身学校1校につき一般枠と地域医療枠を合わせて5名以内とし、次の各項に該当する者

1. 成績、評価等に優れ、調査書の学習成績概評がA段階(3年間全科目の評点平均 4.3)に
属し、学校長が責任を持って推薦できる者
2. 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bのうち2科目以上、
理科については、物理、化学、生物のうち2科目以上を履修(見込)の者
3. 合格した場合、入学することを確約できる者

学校推薦型選抜の選抜方法

大学入学共通テスト(5教科7科目:理科は生物・物理・化学から2科目選択)、
面接、小論文(2題)及び出願書類を総合して判定

一般選抜（前期）（2023年度（令和5年度）入試）2023年（令和5年）4月入学

大学入学共通テスト：2023年（令和5年）1月14日（土）～ 1月15日（日）

出願期間：2023年（令和5年）1月23日（月）～ 2月 1日（水）

2段階選抜実施（約3倍）

学力試験等：2023年（令和5年）2月25日（土）～ 2月26日（日）

合格者発表：2023年（令和5年）3月 8日（水） 10：00予定

令和4年度入試の統計資料から

推薦入試倍率

志願倍率 2.4倍 (うち地域医療枠のみ 2.2倍)
(前年度3.7倍)

一般入試(前期)倍率

志願倍率 4.5倍 (前年度2.6倍)
受験倍率 2.4倍 (前年度2.4倍)

出身校所在地(推薦・一般の合計)

志願者 県内 104人 / 301人 35% (前年度28%)
合格者 県内 29人 / 79人 37% (前年度35%)

現役・浪人の割合(推薦・一般の合計)(前年度%)

志願者 現役 69%(71) 1浪 17%(16) 多浪 14%(13)
合格者 現役 58%(65) 1浪 29%(25) 多浪 14%(10)



医学と医療をリードする 人材の育成

The development of human resources of leading
medical science and medical treatment

Pick up contents

ピックアップコンテンツ

さまざまなコンテンツで、群大医学部医学科の魅力や特徴をご紹介します。

群馬大学医学部医学科ウェブサイトもご覧ください

<https://www.med.gunma-u.ac.jp/>

